

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：阿久和キッズ	種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）	
代表者氏名：圓谷 小夜子	定員（利用人数）：19名	
所在地：横浜市瀬谷区阿久和東2-7-15		
TEL：045-444-8614	ホームページ：http://akuwa-kids.com/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2014年4月21日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 山王平成会		
職員数	常勤職員：8名	非常勤職員：4名
専門職員	（専門職の名称）：名	
	保育士：10名	調理師：1名
	栄養士：1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室	事務室
		調理室兼授乳室
		トイレ

③理念・基本方針

<理念>

社会福祉法人山王平成会の運営する阿久和キッズは、子どもの最善の利益を第一として、家庭や地域との連携を図り子どもの発達を促します。

<基本方針>

1. 家庭や地域社会と心を通わせ、積極的・意図的に交流及び協力し合い、「共に育つ、育てる」の関係を構築します。
2. 子どもが家庭と保育園という異なる場所でその一日を安心して生活できるように二つの生活領域を連動・継続させます。
3. 愛されている・受け入れられているという心地良さを感じながら、仲間と共に生きる力の基礎となる、生活する力・遊ぶ力・考える力・楽しむ力を身につけます。
4. 家庭や地域社会からの保育（子育て）や園全般に関する要望・意見・相談は温かく受け止め分かりやすく対応し、より良い保育のための研鑽に努力するとともに社会責務を果たします。
5. 職員は、笑顔で愛情深く、向上心にあふれ、楽しくて元気いっぱい、夢いっぱいの子ども大好き、保育大好きの人間像を目指します。

<園目標>

ふれあいの中で 心豊かに 育ちあう子どもたち

<保育姿勢>

1. 一人ひとりの子どもの発達の様子や気持ち（とりまく環境を含め）を受け止め、共感しながら焦らずに、成長を見守っていく。
2. 日々の生活の中で「ふれあい」を大切に、楽しく生活できるようにしていく。
3. 様々な経験を積んでいく中で、自信を持ち、自ら行動しようとする気持ちを育てていく。

④施設・事業所の特徴的な取組

<阿久和キッズの特徴的な取り組み>

1. 環境整備

安心、安全な園生活を通して子どもたちが様々な経験を得られるように環境を整えている。

2. 保育内容

子ども一人ひとりの気持ちを受け止め寄り添って保育するように心がけ子どもの年齢に合わせた適切な

保育、子どもの個性や特徴に合わせた柔軟な対応をしている。

3. 保護者支援

保護者対応を丁寧に行い、気軽に育児相談にも応じられるようにしている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年04月20日（契約日） ～ 2021年12月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【阿久和キッズの概要】

●阿久和キッズは、定員19名の小規模保育事業を実施し、社会福祉法人山王平成会（以下、法人という）の経営であり、本年で開園8年目を迎えます。法人は、秋田県を本拠地とし、現在、秋田県に2園、横浜では「上永谷西保育園」を加えて4園の保育園を展開し、法人本部に横浜統括と秋田統括を設置し、各事務長を配して運営に当たっています。法人の保育方針は四季折々の自然に触れる機会を大切に、解放感を味わえるよう水・砂・泥等に十分に触れ、楽しむ場を大切にされた保育を行っています。

●阿久和キッズは、自然環境に恵まれた住宅街の中に位置し、近隣には多くの公園が点在し、自然と触れ合い、豊かな園生活が送れるよう支援しています。また、徒歩5分圏内には法人系列園の「阿久和保育園」があり、例年、阿久和保育園が実施する地域交流へ参加して連携を図っています。卒園後の進級先としては、三ツ境幼稚園、認定こども園はらのこ原幼稚園と連携を結んでいます。

●阿久和キッズでは、乳児期の重要な時期、1日の大半を過ごす生活の場を十分認識し、「ふれあい」を大切にしながら、温もりのある、安心感の持てる環境を大切に保育に当たっています。また、法人の保育方針に沿い、職員の愛情の下、遊び・生活し、子どもの心身の健やかな成長発達が図られるよう援助しています。

◇特に評価の高い点

1. 【保育理念の実践】

●園の保育理念として「子どもの最善の利益を第一として、家庭や地域との連携を図り子どもの発達を促します。」を掲げています。この理念の実践の如く、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、その気持ちを受け止め、受け入れられた信頼関係の下、子どもの意思や人と関わる力の基礎を培っています。そして、自己肯定感の基礎となる愛着関係を築くよう愛情を注いでいます。保護者に対しては、登園時に家庭での様子を聞き、降園時には園での子どもの様子や小さな出来事をも丁寧に伝え、家庭と密に子どもの成長を共有し、保護者に安心感を提供しています。

2. 【乳児保育としての内容の充実】

●乳児期にとって必要な養護において、園では愛着形成に重点を置き、一人ひとりの保育の異なりを踏まえ、クラスごとにねらいを持って関わり、子どもが安心できるよう、温かく愛情ある雰囲気の中で子どものありのままを受け止め、信頼関係を築いています。また、子どもの様々な表情の変化や健康状態は職員間でチームワークを固め、気持ちに寄り添いながら保育に当たっています。保護者についても、子どもの成長を共に喜び合えるよう、登降園時には保護者一人ひとりに丁寧に対応し、育児相談にも日々気軽に応じる等、阿久和キッズの評価の高い点です。

3. 【法人系列園の有機的連携】

●同一法人の横浜4園での園長会では、法人内の諸問題について透明性を図り、検討及び共有し、法人理念に基づいた園運営と、統一ある意識をベースに有機的連携が図られています。各園で地域の部会や関係機関の会議に出席し得た情報を、法人の全体園長会や同一法人の横浜4園園長会で話し合い、地域特性の把握や地域の保育ニーズ等を検討し、運営の課題として法人へ提起する等、運営に関わり、連携を図っています。中期計画についても、4園園長会で情報交換及び話し合い、園の単年度計画に反映させる等、活動を含め、園の活性にプラス効果が図られています。

◇改善を求められる点

1. 【働きやすい環境作りについて】

●人材確保及び定着について、どの園でも課題として挙げられる点ですが、園では、職員の意向調査を実施し、意向を基に法人と連携を図りながら次年度の人材確保に努めています。職員の定着については、働きやすい職場環境作りに尽力し、相談しやすい環境や、やりがい、達成感が得られるよう、年3回、園長と面談を実施し、助言や指導に努めています。また、処遇改善や福利厚生充実を図り、完全週休2日制の実施、有給休暇の取得促進、Wi-Fiの環境整備、事務効率の向上及び事務作業時間の確保にも力を入れています。法人では、勤続規程を改訂し、10年・15年表彰を追加して処遇面の改善を図り、法人全体で働き方改革を推進し、職員の定着に努めています。職員の業務の効率化については、ICTの導入または一部ICT化の実現を目指し、職員の負担軽減という大きなメリットを得、子どもの向き合う時間も増え、保育の質の向上、研修時間の確保等につながり、また、さらなる保護者とのコミュニケーションの円滑化も図られると思われまますので、取り組みに期待いたしております。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：阿久和キッズ

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

今回、初めての第三者評価受審にあたり、様々な視点から振り返り、見直す良い機会となりました。

職員全員で日々の保育活動で取り組んでいること、工夫していることを確認し、改善すべき点を話し合っで多くの気づきが発見できたのは、とても有意義なことでした。

「乳児保育としての内容の充実」を高く評価していただいたことは、職員の自信になり、今後のやりがいにもつながっていくと思います。受審結果を振り返り、良い点は励みにしながら維持していき、改善点については、職員と共に園全体で取り組んでいきます。

最後に、お忙しい中、アンケートにご協力いただきました保護者の皆さま、長時間にわたり細部まで評価して下さった評価機関の皆さまに、心より感謝申し上げます。

今後も、子どもたち一人ひとりに寄り添い、保護者の皆さまや地域に愛される保育園を目指し、努めて参りたいと思います。

<評価後取り組んだ事として>

1. 個人の気づきは全体で共有し、同じ方向に進むことを大切にしています。
2. 保育士としての幅広い知識と専門性の向上のため、内・外部研修には積極的に参加し、スキルアップを目指しています。
3. 実習生、ボランティア受け入れについては、職員の意見を取り入れながら検討しています。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり